

# 浦幌町立博物館だより

令和4(2022)年1月号

編集・発行：浦幌町立博物館 ☎089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1 / ☎015-576-2009 / ✉urahoro.museum@gmail.com

## 「看板」を楽しむ、「看板」から学ぶ

### ■企画展「いろいろな看板」

浦幌町立博物館では、12月11日より1月16日まで、冬の企画展「いろいろな看板」を開催しています。収蔵資料のなかから「看板」をテーマに65点の資料を集めました。開催中にも寄贈が続き、12月20日現在で73点まで展示資料が増えました。

### ■看板は楽しい

意匠を凝らした看板は、ただ眺めているだけでも楽しいものです。そこに懐かしさも加わると、楽しさは倍増します。当時を知らない世代も、いまの時代ではみられないデザインや素材に、興味や関心がわいてくるのが看板です。

そう考えると、街中でもっとも身近に接することのできる美術品が、看板といえるのかもしれません。

### ■看板から学べる

看板とひとくちにいても、板に描いたいわゆる「看板」から、なかに電灯を灯した行灯式(あんどんしき)看板、のれんやのぼり、瀬戸表札、珙瑯引き(ほうろうびき)な



企画展「いろいろな看板」に展示された看板の数々。それぞれの看板に由来や歴史がある。

どさまざまです。それぞれの看板に由来や歴史があります。

歴史的には過去となった町の記憶も、「看板」という標本を通じて呼び覚ますことができます。看板から学べることは、た

くさんあるのです。

博物館では、これからも看板を集めていきます。看板を処分する際は、いちど博物館へもお声がけください。

(浦幌町立博物館 学芸員 持田 誠)

### 「博物館の収蔵資料から

こんな資料を集めています!

### 松屋の看板のマーク



喫茶店「松屋」の3代目にあたる看板です。

松屋の創業は1965(昭和40)年。店主の中山さんは、父が経営する駄菓子屋「松屋」の2階で喫茶店を創業します。

コーヒーについて教えるを乞うたのが、帯広にあった同名の「松屋コーヒー店」でした。これは、東京虎ノ門にある老舗コーヒー店「松屋珈琲」の帯広支店にあたります。

中山さんは浦幌へ開業するにあたり、東京の松屋珈琲のマークを使用する許可を得ました。松屋の看板には、いまも東京の老舗と同じマークが輝いています。(中山光勝氏寄贈)

### Pick up BOOK [注目の本]

図書館から

### 『珙瑯看板』

オオタ・マサオ(著) 小学館  
1999年11月10日発行  
四六判 128頁



「懐かしき昭和30年代を訪ねて」の副題があるとおり、高度経済成長期前後によくみられた珙瑯引き(ほうろうびき)の看板について、その多様性を解説した一冊です。

独特のデザインや書体をもちいた珙瑯看板は、かつては全国の街道筋や鉄道沿い、商店の壁面など至るところに掲げられていました。それらの看板を注意深く見ていくと、日本の産業構造や社会事情がみえてきます。

企画展「いろいろな看板」の相伴に、ぜひお読みいただければと思います。

【図書館での配架場所】  
産業(商業)  
分類記号→674.8才

(浦幌町立博物館 学芸員 持田 誠)

# 1月の博物館お知らせ

企画展

## 冬の企画展 いろいろな看板展

12月11日(土) 10:00~18:00  
▼  
1月16日(日) 場所：博物館特別展示ホール  
入場無料

### 常室簡易郵便局

収蔵資料のなかから、さまざまな「看板」をとりあげて展示します。表札としての看板、広告としての看板など、看板もいろいろ。こうした「看板」を歴史、風俗などさまざまな観点から眺めてみると、いろいろと楽しいことが見えてきます。



企画展

トピック展

## 全国孔版画年賀状展

全国の孔版画サークルとの間でやりとりされる孔版画年賀状の数々を今年も大公開。

1月27日(木) 場所：博物館特別展示ホール  
▼  
2月8日(火) 入場無料

10:00~18:00

主催 浦幌孔版画サークル  
共催 浦幌町文化協会  
浦幌町立博物館



## お正月の文化

1月8日(土)  
▼  
1月23日(日)

しめ飾りやおせち料理など、お正月に関する文化について紹介します。地域おこし協力隊の古賀詠風さんが少年時代にとりくんだ「おせち料理研究」の成果や「おせち作り動画」も公開。

民俗調査

座談会

## 元旦に食べたもの 写真募集します！



博物館では、元旦(1月1日の朝)に何を食べたか？について、調査します。元旦に食べたものの写真を撮り、コメントを書いて、博物館へお送り下さい。くわしくは博物館のサイトまたは募集ポスターをご確認ください。

## 「お正月の文化」を語ろう

1月13日(木) 19:00~20:00

場所：浦幌町立博物館

申込不要・無料

話題提供：古賀詠風氏  
(浦幌町地域おこし協力隊)



お正月をどうやって過ごしたか、食事、遊び、風習など、参加者同士で自由に語り合しましょう。

入館料：無料

開館時間：10:00 ~ 18:00

バリアフリートイレ完備  
車いす常備

多言語化表記には未対応

学芸員：1名配置

展示解説の申込み、レファレンス、資料調査等は事前に電話かメールにてお申し込みください。

### 1月 休館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

休館日：月曜日・祝日の翌日

28日(金)は資料整理日で休館



JR根室本線浦幌駅下車徒歩8分  
帯広駅より普通列車…約1時間  
池田駅より普通列車…約40分  
釧路駅より普通列車…約2時間  
鉄道のご利用が便利です！

【運賃】

帯広～浦幌間 1290円(片道)

釧路～浦幌間 1680円(片道)



駐車場無料

帯広市より国道38号線約1時間

釧路市より国道38号線約1時間半

道東自動車道浦幌ICより約50分



# 浦幌町立博物館

The Historical Museum of Urahoro

お申し込み・お問い合わせ：電話 015-576-2009

〒089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1 (図書館併設・役場となり)

E-mail: museum@urahoro.jp / urahoro.museum@gmail.com